

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成20年10月23日 (2008.10.23)

【公表番号】特表2004-508415(P2004-508415A)

【公表日】平成16年3月18日 (2004.3.18)

【年通号数】公開・登録公報2004-011

【出願番号】特願2002-526415(P2002-526415)

【国際特許分類】

A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 P	1/04	(2006.01)
A 6 1 P	3/10	(2006.01)
A 6 1 P	7/08	(2006.01)
A 6 1 P	9/00	(2006.01)
A 6 1 P	9/10	(2006.01)
A 6 1 P	9/14	(2006.01)
A 6 1 P	15/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/02	(2006.01)
A 6 1 P	19/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/04	(2006.01)
A 6 1 P	27/02	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	41/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
C 0 7 K	16/28	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	39/395	D
A 6 1 K	39/395	N
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 P	3/10	
A 6 1 P	7/08	
A 6 1 P	9/00	
A 6 1 P	9/10	
A 6 1 P	9/14	
A 6 1 P	15/00	
A 6 1 P	17/02	
A 6 1 P	19/00	
A 6 1 P	25/04	
A 6 1 P	27/02	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	41/00	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
C 0 7 K	16/28	Z N A

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月4日 (2008.9.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 被験体において癌を処置するための医薬の製造のための、抗 F n 1 4 抗体である F n 1 4 アゴニストの使用。

【請求項 2】 前記抗体がモノクローナル抗体である、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 3】 前記抗体が、ヒト定常ドメインを含むキメラ抗体である、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 4】 前記抗体がヒト化抗体である、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 5】 前記抗体がヒト抗体である、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 6】 前記抗体が霊長類化抗体である、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 7】 前記抗体が多価抗体である、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 8】 前記抗体が I g G である、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 9】 前記抗体が I g M である、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 10】 前記抗体が、前記被験体の体重 1 k g につき 1 0 μ g ~ 3 0 0 μ g の用量で投与されることを特徴とする、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 11】 前記抗体が、非経口経路、静脈内経路、皮下経路、腹腔内経路、または嚢内経路を経由して投与されることを特徴とする、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 12】 前記抗体が、放射線または化学療法と組み合わせて投与されるモノクローナル抗体である、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 13】 被験体において癌を処置するための医薬であって、
抗 F n 1 4 抗体である F n 1 4 アゴニスト
を含む、医薬。

【請求項 14】 前記抗体がモノクローナル抗体である、請求項 13 に記載の医薬。

【請求項 15】 前記抗体が、ヒト定常ドメインを含むキメラ抗体である、請求項 13 に記載の医薬。

【請求項 16】 前記抗体がヒト化抗体である、請求項 13 に記載の医薬。

【請求項 17】 前記抗体がヒト抗体である、請求項 13 に記載の医薬。

【請求項 18】 前記抗体が霊長類化抗体である、請求項 13 に記載の医薬。

【請求項 19】 前記抗体が多価抗体である、請求項 13 に記載の医薬。

【請求項 20】 前記抗体が I g G である、請求項 13 に記載の医薬。

【請求項 21】 前記抗体が I g M である、請求項 13 に記載の医薬。

【請求項 22】 前記抗体が、前記被験体の体重 1 k g につき 1 0 μ g ~ 3 0 0 μ g の用量で投与されることを特徴とする、請求項 13 に記載の医薬。

【請求項 23】 前記抗体が、非経口経路、静脈内経路、皮下経路、腹腔内経路、または嚢内経路を経由して投与されることを特徴とする、請求項 13 に記載の医薬。

【請求項 24】 前記抗体が、放射線または化学療法と組み合わせて投与されるモノクローナル抗体である、請求項 13 に記載の医薬。